

Ls/Eq

深見池



Ver.1(2020/2/1)

災害伝承 DATA

所在地：長野県阿南町東條
緯度・経度：北緯 35 度 19 分 31.8 秒
東経 137 度 49 分 10.7 秒
伝承形式：地形
種類 / 要因：地すべり / 地震
災害発生：1662 年（寛文 2 年）
建立時期：なし
指定等：なし
周辺地形：山地

言い伝え・伝説



1662 年（寛文 2 年）の地震によって大規模な地すべりが発生し、その跡の窪地に七つの池ができ、やがて一つになって深見池ができたといわれています。また、この地すべりによる土塊は天竜川の対岸にある泰阜村我科まで届きました。

[観光情報はこちら](#)

周辺案内

深見池は平地の少ない伊那谷において唯一の天然湖です。面積の割に底が深く、また周囲の大部分を斜面に囲まれているため、風の影響が小さく水が混合しにくいという特徴があります。このため、夏季でもアオコの繁殖による水の汚れが生じない等、普通の湖では見られない様々な現象が観測され、研究対象としても取り扱われています。